学校法人東海学園 自己点検・評価表

本校は、教育水準の向上と適切な校務運営を継続させるため、自己点検・自己評価項目を定めて、定期的に点検・評価することとした。

点検・評価項目については、一般社団法人日本語教育振興協会が推奨する「日本語教育機関のための自己点検・自己評価項目」を参考にした。

各項目の評価方法は、３段階評価（AからC）とする。

A: 「達成されている」あるいは「適合している」項目

B: 「一部未達成」であるが、近く達成あるいは適合が見込まれる項目

C: 「未達成」あるいは「適合していない」項目

Ⅰ点検・評価項目

理念・教育目標

1 学校運営

1－1 学校の理念や目的に基づいた学校運営方針や事業計画を準備している。≪A≫

1－2 学校運営に必要な人材確保と育成に努めている。≪B≫

2 入学者選考

2－1 入学者選考に関し、学習意欲、学習能力、経費支弁能力、日本語能力等を総合的に判断している。≪A≫

2－2 入学者の選考に当たっては、学校職員等が面接等を行うよう努めている。≪A≫

3 納付金

3－1 入学時及び入学後の授業料及びその他諸経費については入学志願者、その経費支弁者の理解出来る言語で募集要項等に明記しているとともに、留学説明会等において十分周知している。≪A≫

4 学生支援

4－1 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。≪B≫

4－2 留学生個々の希望等を踏まえ、進路指導を適切に行っている。≪A≫

4－3 不法残留者、資格外活動違反者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。≪A≫

5　教　員

5－1　校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている
≪B≫

5－2　教職員の教育力強化のための研修等を実施するとともに、外部機関等が実施する研修会等への参加を促している。≪B≫

6　教育活動

6－1　理念・教育目標に合致したコースを設定するとともにカリキュラムを体系的に編成している。≪A≫

6－2　学習者の日本語能力等に応じた適切なクラス編成を行っている。≪A≫

6－3　学習者の進捗状況等について、教員間相互に情報交換を行い、集団での学習指導体制に努めている。≪A≫

7　教育施設

7－1　授業時間外に自習出来る部屋の確保に努めている。≪B≫

7－2　法令上必要な設備を整えている。≪A≫

8　安全・危機管理

8－1　対象となる学生全員が国民健康保険及び留学生保険に加入している。≪A≫

8－2　気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、教職員、学生に周知している。≪B≫

8－3　警察、消防署等の協力を得て定期的に交通安全教室等を開催している。≪A≫

9　法令の遵守等

9－1　個人情報保護の取り組みを適切に行っている。≪A≫

9－2　教職員のコンプライアンス意識を高めるための努力を行っている。≪B≫

9－3　入国管理局及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。≪A≫

Ⅱ実施体制

校内に「自己点検・評価委員会」を設置

Ⅲ実施時期

最終点検・評価（2026年03月13日）

＊＊自己点検B項目についての改善策を引き続き検討する。

＊＊次年度より「改訂版評価表」により点検するとともに、実施体制の充実を図る。

具体的な取り組み（特記事項）

〈全体的に〉

これまで経験したことのないコロナ禍という困難な教育環境下での種々な取り組み実践から新たに学ぶ点が多々あった。

何よりも教職員が一体となり、知恵を出し合いながら教育内容の整理及び手段・方法の工夫改善に積極的に取り組む機運,体制が一層整ってきている。

〈学校運営・教育環境整備〉

在籍学生の充実した学習環境を保証することを最重点としつつ、教職員の確保に努めるとともに、教室等施設を改修、整備した。

〈教育活動〉

教育目標、学習到達点を踏まえ、従来の教育課程をコース毎に点検、整理、改善し学習者の実態に一層即したものとすると共に、併せて学習者の意識にも十分配慮しつつ、日本語能力（レベル）別クラス編成を継続して取り組んだ。

また学生の進路指導においても、従来に比べその希望が多様化しつつある中で、校内での進路ガイダンスの充実に努めるとともに、校外開催の就職フェア等への参加を奨励する等学生の将来展望への意識向上に努めた。

〈教員研修〉

教員の資質向上に向けた絶え間ない研修は、日本語教育機関として最も重要にして必須の課題として受け止めているところである。新規採用予定教員はじめ、比較的勤務経験の浅い教員を対象として教案作り、試験問題作成のあり方、生徒理解等について研修の機会を持った。

また隔月開催の定例職員会議終了後は、現職教育と位置付け、理事長、学園長、校長、また教務及び進路主任がそれぞれ時期に応じ教職専門並びに一般教養、社会問題等について講話を行い相互の研修に努めた。

〈その他〉

近隣の高等学校、地域諸団体に対し、スピーチコンテストの審査員として、また中国語、英語等の通訳ボランティアとして様々な機会に貢献した。

学習者の出身国がさらに多様化すると予想される中で、学生への学習・生活指導の一層の工夫また募集活動のあり方、海外教育機関関係者との意思疎通のあり方が課題と思慮する。

自己点検・評価を通じ、従来から長らく認定されてきた優良校認定を今後とも継続出来るよう、教職員、生徒一丸となって信頼される学校作りに努力を重ねる所存である。